

## かつせいくんについて

山下 莉奈

小郡市立 大原小学校

わたしは、社会科見学で下水しよりしせつに行ったとき、初めて、かつせいくんという言葉を知りました。名前だけ聞くと、かわいキヤラクターかなと思っていたけど、重要な生物だとわかりました。かつせいくんとは、下水しよりのかていで、かつせいおでい（び生物）をくわえて、汚れを食べてもらうために反のうタンクにくわえられる、び生物の愛しようです。

かつせいくんの働きは、反のうタンクに空気を送りこむことで、かつせいくんの働きが活発になり数がふえ、汚れの元を食べて水をきれいにしてくれます。かつせいくんは、反のうタンクからさい終ちんでん池に送られ、時間がたつとともにそこにしずみ、上のほうには、きれいな水のそうができます。水をきれいにしたあと、そこにしずんだかつせいくんは、のうしゆく脱水され、しよきやくされて灰になり、セメントの原料としてさい利用されるそうです。かつせいくんががんばったあとのお水は、とてもきれいになって、川や海に流れています。こうして自然をまもっているんだなと思いました。

このことを知ってから、わたしは自分の家でできることを考えるようになりました。たとえば、食器を洗うときに油をそのまま流さないようにふきとったり、むだに水を出しっぱなしにしないように気を付けていたりします。わたしたちがよごしたお水を、かつせいくんが、がんばってきれいにしてくれているのだから、少しでも手伝えることをしたいと思いました。

また、家族にも、かつせいくんのことを話したら、「そんなのしらなかつた。」とおどろいていました。ままとばばは、「そんな生物いいでしょ。」といって、スマホでかつせいくんをけんさくしたら、かつせいという生物が本当にいて、びっくりしていました。そして、「これからは油のついたフライパンは、紙でふいてから洗おう。」と言ってくれて、わたしはとでもうれしかったです。わたしの話で家族も水を大事にしようとしてくれたことが、自分の中でちよつと自信になりました。

水は、わたしたちが生きていくのに、ぜつたい必要なものです。その水をきれいにしてくれるかつせいくんたちは、とても大切なそんざいです。これからもずつと、かつせいくんたちが元気に働けるように、わたしも水や自然を大事にしていきたいと思えます。